



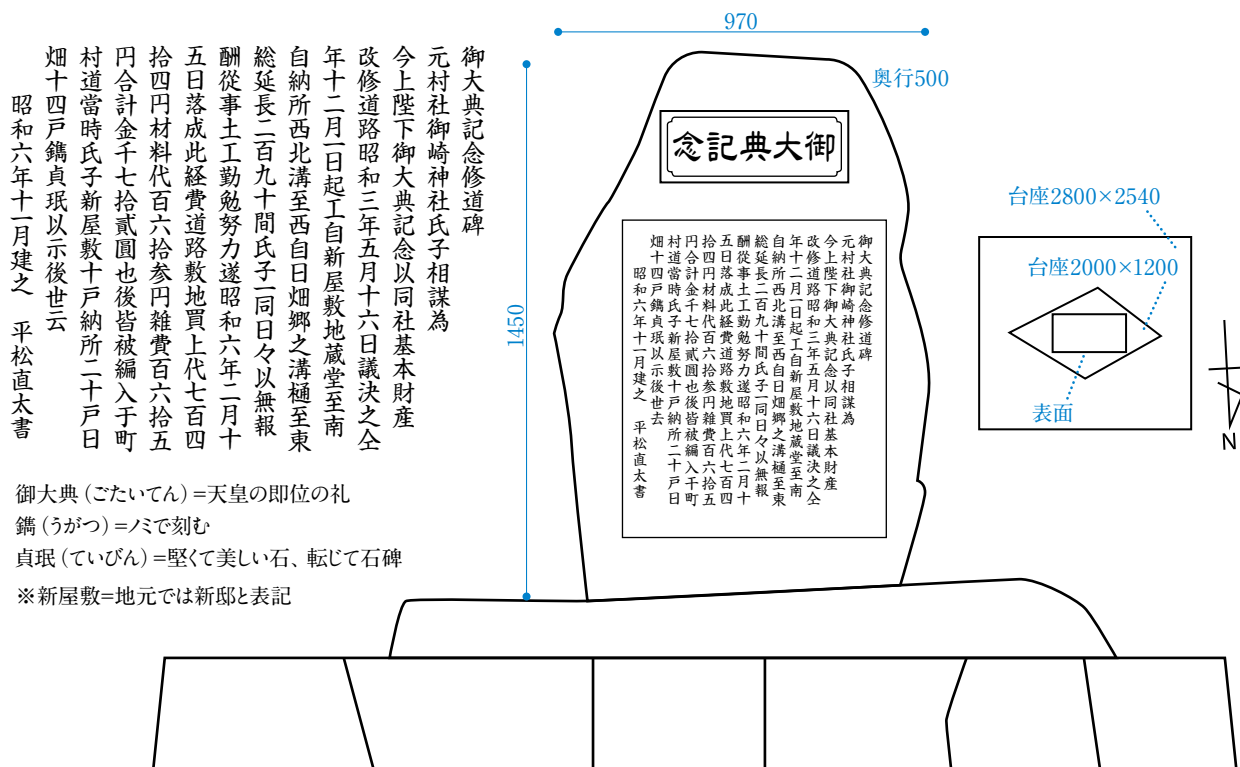
## 77 御大典記念碑

(岡山市北区納所)



納所と吉備津新邸の境界にあり、氏子が協力奉仕して道路や用水の樋の整備をした。昭和天皇の即位記念(御大典)として、砂坑(すなぐろ=用水路の浚渫した土砂を溜める所・官地)に建てられた碑。

碑文を著した平松直太は、庄村(現倉敷市)下庄の生まれで、撫川小学校で教鞭を執っており、35歳の時の筆である。(きびのさとNo.113より)



御大典(ごたいてん)=天皇の即位の礼

鑄(うがつ)=ノミで刻む

貞珉(ていびん)=堅くて美しい石、転じて石碑

※新屋敷=地元では新邸と表記